

1

- 問1 アー更新世    イー土師器    ウー竪穴住居    エー高床倉庫    オー掘立柱住居  
問2 食物を盛り付ける用途として使用された。  
問3 灰色で硬質であった。(10字)  
問4 気候の温暖化で食糧が多様化してその保存や貯蔵が可能となり、人々の生活が安定した。(40字)

2

- 問1 異国警固番役  
問2 荘園領主の所領に居住した幕府と主従関係のない非御家人のこと。(30字)  
問3 北条時宗  
問4 畠山政長・畠山義就  
問5 守護大名の大内義隆が家臣の陶晴賢に国を奪われるなど、下の者が上の者に実力で打ち勝って地位を奪う現象。(50字)  
問6 藤原頼通  
問7 田一段ごとに賦課された臨時税。(15字)  
問8 明  
問9 段銭 100 文のうち、20 文までは永楽通宝と宣徳通宝で納めること。(29字)

3

強固な身分制社会において、女性は一般的に男性の下位に置かれた。各身分は「家」を基本単位とし、家の存続が重視されたため、家内部では家を代表する家長の権限が強くなり、家長には男性がなって家業を継承した。武家の女性は家長になることは原則許されず、家長に従順する存在とされた。例えば、徳川秀忠の娘和子（東福門院）が後水尾天皇の中宮となるなど政略結婚に利用された。村や町においては男性が生業の中心となる中で、女性には『女大学』などを教材に良妻賢母主義教育がなされ、家を支えるための家事や子育てに従事させた。また農家の女性は、生活を補う必要から農業の合間に機織りなどを行い、工場制手工業が発達すると奉公人として織物工場で働く者もいた。文化面では江戸中期以降に美人画が人気を博すなど、女性はその姿が芸術や文芸の対象ともなった。一方、幕末期には天理教の教祖となった中山みきのように、社会的影響力のある女性も登場した。

(400字)

4

- 問1 アー職業婦人    イー映画    ウー国民所得倍増    エー耐久消費財
- 問2 ヨーロッパ列強が後退したアジア市場には綿織物など、大戦景気にあるアメリカには生糸などを輸出して、貿易が輸出超過となった。(60字)
- 問3 事務系のサラリーマンである都市の生活者。(20字)
- 問4 アメリカの日本防衛義務や、在日アメリカ軍の軍事行動に関する事前協議が定められた。(40字)
- 問5 第二次・第三次産業に傾斜する産業構造の高度化に伴い、人口が都市部に流出することで過疎化が進行した。(49字)